第3章 地域別構想

1 地域区分

地域別構想を策定する上での地域区分は,生活圏の構成に配慮し,江田島,能美,沖美,大柿の4地域とします。

また,江田島地域の江南地区と大柿地区の飛渡瀬地区は,江南・飛渡瀬地区として都市拠点に位置づけられていることから,江田島,大柿の両地域にそれぞれ含めて検討します。



2 地域別構想

2 - 1 江田島地域

(1) 現況と課題

ア 現況と特性

(ア) 位置,地域特性

江田島地域は,本市の北東部に位置し,広島市,呉市と航路で結ばれており,両市への玄関口と して位置づけられます。

地域の北部に豊かな自然環境を有する山林が分布し,その山腹から海岸沿いに市街地・集落が形成されています。また,山林の中央には古鷹山があり,登山道が整備されています。

本地域は、明治21(1888)年に海軍兵学校が移転して以降多くの近代建築物が建てられ、現在まで保存使用されています。また、海上自衛隊第1術科学校など多くの自衛隊施設が立地しており、国立江田島青少年交流の家とともに、本市の観光・交流機能の一翼を担っています。

(イ) 居住者の動向

平成17(2005)年国勢調査による人口は12,085人, 世帯数は 4.452世帯です。

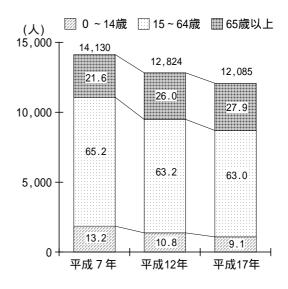
人口,世帯数とも減少傾向を続けており,平成7(1995)~17(2005)年の10年間の人口減少率は14.5%(全市は14.1%)と高くなっています。

年齢三区分別人口割合は,15歳未満9.1%(全市9.6%),15~64歳63.0%(同58.6%),65歳以上27.9%(同31.7%)で,他の地域に比べ15~64歳の割合が高くなっています。

(ウ) 土地利用,都市基盤施設等

土地利用は,北部一体と南部の尾根筋に山林, 山ろく部に農地が分布し,海岸沿いに市街地・集 落が分散して分布しています。

図 人口及び年齢三区分別人口割合の推移



商業地は,中央地区に行政施設,商業・業務施設などが集積し,地域の中心地としての役割を担っています。また,江南・飛渡瀬地区に大規模小売店が多く立地し,本市の商業拠点が形成されています。

住宅地は,切串,津久茂,宮ノ原,小用,秋月,中央,鷲部,江南などに分散して分布しています。

また, 小用地区北部, 秋月地区南部などに小規模な工業地が形成されています。

公共交通は,乗合バスで各地区と市内,各桟橋などが結ばれ,航路は,切串西沖,大須,小用の 各桟橋と広島方面,小用,秋月,切串吹越の各桟橋と呉方面が結ばれています。

主要道路は,国道 487号,主要地方道江田島大柿線を軸とし,一般県道石風呂切串線,同鷲部小 用線,同秋月飛渡瀬線などが地域を周遊する形で分布しています。

イ 地域の望ましい将来像に関する意向

地域の望ましい将来像については、地域全体では「福祉環境の充実したまち」をあげた人の割合が最も高く、次いで「自然環境が豊かな落ち着いた集落」「働く場が豊富なまち」「公共施設や商業施設が立地する便利なまち」「防災、防犯の取り組みの盛んなまち」が上位5項目にあげられています。

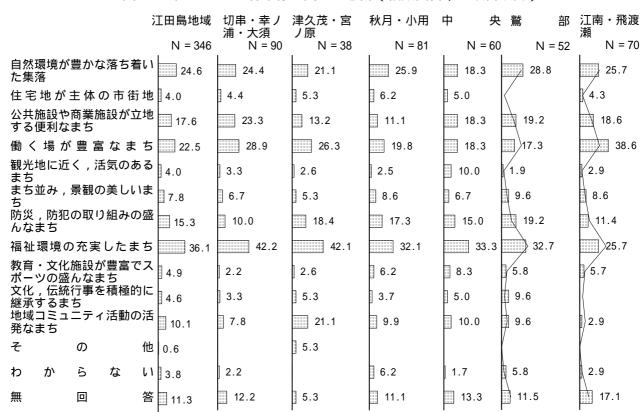


図 地域の望ましい将来像に関する意向(複数回答,2項目以内)

注-1:都市づくりに関するアンケート調査結果による。(Nは回答者数) -2:江田島地域の合計は,飛渡瀬地区の回答者数(45件)を含まない。

ウ 都市づくりの課題

(ア) 基本的な課題

本地域は,今後,少子高齢化が一層進むものと見込まれ,高齢者,障害者等が暮らしやすい都市づくりを進めるとともに,子育で世帯のニーズに対応した都市づくりを進め,人口定住を促進する必要があります。

また,人口定住を促進するため,産業基盤の整備,近隣都市への通勤条件の向上等により,産業の活性化と就業機会の拡大を図る必要があります。

(イ) 土地利用の課題

瀬戸内海に育まれた樹林地,海岸線などの良好な自然環境を,本市の貴重な地域資源として保全するとともに,無秩序な開発等に伴う自然災害を防止するため,適切な土地利用規制を行う必要があります。

市街地の広がっている切串,江南・飛渡瀬地区について,合理的な土地利用を図るため,土地利 用目的に応じた適切な土地利用や建築活動の規制,誘導を行う必要があります。 都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬,地域拠点に位置づけられる中央,生活拠点に位置づけられる切串,小用の各地区について,各拠点としての都市機能の充実・強化を図る必要があります。

(ウ) 交通及び都市基盤施設の課題

公共交通の充実を図るため,広島市,呉市への玄関口に位置づけられる切串西沖,切串吹越,大須,小用,秋月の各桟橋へのアクセス道路となる国道 487号の未整備区間の整備,バス路線の充実などを図る必要があります。

また,江田島地域と能美,沖美地域との一体化に向けて,国道 487号津久茂・高田間の整備や都市拠点(江南・飛渡瀬地区)の交通機能の強化を促進する必要があります。

さらに,安全で快適な都市づくりを進めるため,都市計画道路未整備区間の整備,身近な公園の 整備,既設都市公園等の有効活用,下水道の整備,河川・水路等の改修等を進める必要があります。

(I) 市街地・集落の居住環境の課題

小規模に分散した市街地・集落における日常生活の利便性を確保するため、公共交通の充実、公共施設の整備、活用等により、生活サービス機能の向上を図る必要があります。

また,道路等の整備水準の低い市街地,住宅の密集により居住環境が悪化している中央,秋月,緊急車両の通行が困難な地区が連たんしている切串,津久茂,宮ノ原,小用,中央,鷲部などの地区については,生活道路の整備,防災体制の強化等により,居住環境の向上と安全性の向上を図る必要があります。

(オ) 都市環境形成の課題

子どもたち,高齢者,障害者などが暮らしやすいよう,まちのバリアフリー化,通学路の確保, 歩道の整備などを進める必要があります。

このため,国道 487号(切串,小用,中央,津久茂),主要地方道江田島大柿線(中央,鷲部,江南)などの歩道未整備区間の整備,桟橋や主要な公共施設周辺のバリアフリー化などを重点的に進める必要があります。

また,誰もが安全で安心して暮らせるよう,土砂災害警戒区域に指定されている小用地区周辺をはじめ,災害危険箇所周辺の防災対策,緊急輸送道路に指定されている国道 487号の未改良区間の整備,市街地・集落における避難地,避難路の確保等を図る必要があります。

(カ) 景観・地域資源に係る課題

本地域は,古鷹山が地域のランドマークを形成し,海と島による特徴のある景観が形成されており,これらの景観資源を生かした良好な景観を形成する必要があります。

また,海上自衛隊第1術科学校や旧海軍兵学校関連の近代建築物,国立江田島青少年交流の家などの広域的な観光・交流施設が分布し,切串人工干潟,古鷹山登山道,観光農園などレクリエーション地も多く,これらの観光・交流・レクリエーション資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

さらに,地域住民のまちづくり活動への関心は高く,住民と行政との協働により,豊富な地域資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

(2) 都市づくりの目標

ア 地域の特徴と位置づけ

- ・広島市, 呉市への海の玄関口
- ・江南・飛渡瀬地区に広域的な商業施設が多く立地
- ・旧海軍兵学校、国立江田島青少年交流の家など広域的な観光・交流施設が分布
- ・市街地が分散して分布し,居住人口が多い
- ・防衛関連施設用地が多い

イ 都市づくりの目標

- ・広島市, 呉市への海の玄関口としての交通結節機能の充実・強化
- ・商業・業務機能の充実による市民生活の魅力を高める都市拠点の形成
- ・広域的な観光客の受け入れ、交流の促進による賑わいの創出
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成(地域・生活拠点の形成,都市基盤の整備,バリアフリー化,防災等)
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成(自然環境,歴史的・文化的環境,景観等)

ウ 都市づくりのテーマ

『観光・交流を基軸とした賑わい豊かな都市づくり』

(3) 都市づくりの方針

ア 土地利用の方針

- ・切串,津久茂,宮ノ原,中央,鷲部,小用,秋月,江南・飛渡瀬地区における良好な環境の住宅地の形成
- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬地区における商業・業務施設の立地誘導,交通結節機能の強化,新たな拠点的公共施設の配置などによる都市機能の充実,強化
- ・地域拠点に位置づけられる中央,生活拠点に位置づけられる切串,小用における商業機能,交 通結節機能等の充実・強化
- ・小用,秋月,江南・飛渡瀬地区の工場集積地における工業地としての土地利用の維持,アクセス道路の整備等による産業機能の強化
- ・切串,江南・飛渡瀬地区における適切な建築活動の誘導(用途地域の指定の検討)
- ・農地の維持・保全,市民農園,観光農園などとしての活用
- ・森林の維持・保全,市民や近隣都市住民が自然とふれあえる場としての活用
- ・自然海岸、干潟などの保全
- ・旧海軍兵学校周辺,国立江田島青少年交流の家周辺,切串人工干潟などの観光・レクリエーション地における環境の整備

イ 都市施設の整備方針

(ア) 道路・交通体系

道路

・国道 487号の未改良区間の拡幅,歩道の設置,御殿山隧道の改良の促進(都市計画道路小用

鷲部線の未整備区間のルートの見直し(中央))

- ・国道 487号の津久茂架橋の実現に向けた取組
- ・江田島地域と大柿地域をつなぐ南北軸としての主要地方道江田島大柿線の整備の促進(江南 交差点の改良,都市計画道路小用鷲部線の未整備区間の整備(鷲部))
- ・一般県道石風呂切串線,同鷲部小用線,同秋月飛渡瀬線の整備の促進
- ・地域の防災・安全性, 利便性・快適性を高めるための市道の整備
- ・農林業、観光・レクリエーションの振興等を図るための農道・林道の整備
- ・歩道の設置や拡幅、交差点の改良などによる安全な道路環境づくり
- ・歩道のバリアフリー化,透水性舗装などによる人と環境にやさしい道路の整備
- ・観光ネットワークの形成に向けたサイクリングロード,ポケットパークなどの整備,情報提供機能の充実

港湾

- ・小用港の埠頭用地,浮桟橋,ターミナル施設,駐車場,防波堤等の整備の促進
- ・その他の港湾の施設・設備の整備・充実の検討
- ・切串西沖,切串吹越,大須,小用,秋月の各桟橋におけるターミナル施設等のデザイン化, 情報提供機能の充実,休憩の場の確保・充実,バリアフリー化,緑化・修景

公共交通体系

- ・フェリーや高速旅客船の安全対策の充実,バリアフリー化,案内・情報提供機能等の充実
- ・幸ノ浦,津久茂地区におけるバス路線の確保・充実

(イ) 都市公園等

- ・幸ノ浦、江南における身近な公園の確保
- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬地区における市民の憩いの場としての公園の整備
- ・既設の都市公園等の有効活用
- ・必要に応じた墓園の整備
- ・小中学校跡地のグランド等の市民の身近なレクリエーションの場としての活用
- ・都市公園等を結ぶ安全で快適な歩行者空間のネットワークの形成
- ・観光・レクリエーション地など地域資源を結ぶ歩道や遊歩道、周遊コース等の保全・充実

(ウ) 下水道

- ・切串,小用,秋月,鷲部,江南地区における下水道の整備
- ・江南地区における都市下水路の維持
- ・浄化センターの適切な管理

(I) ごみ処理施設

- ・環境センター(最終処分場)の施設・設備の更新,跡地の有効活用の検討
- ・リレーセンターの適切な管理

ウ 市街地・集落の整備方針

- ・市街地・集落と都市拠点,地域拠点,生活拠点等と結ぶ公共交通の充実,生活道路の整備等に よる利便性の向上
- ・生活中心地における公共施設の整備・活用,公共施設周辺のバリアフリー化
- ・建築物の規制,誘導による接道の確保,建物用途の混在化の防止等
- ・切串,津久茂,宮ノ原,中央,鷲部,小用,秋月,江南・飛渡瀬地区などにおける緊急車両の

通行可能な生活道路の整備の検討

- ・中央,秋月などの密集市街地における建物の不燃化・難燃化の促進,オープンスペースの確保, 避難場所,避難路の確保
- ・居住環境の改善と地域活性化を図るための老朽住宅及び空き家の除却,再生,活用などの推進

エ 自然環境の保全・活用の方針

- ・古鷹山周辺など良好な自然環境を有する森林を保全するための開発許可制度,風致地区などの 地域指定など関係法令の適切な運用
- ・開発行為等における自然環境の保全、景観への配慮などの適切な指導
- ・枯木の伐倒処理や造林,育林,竹林対策の推進
- ・下水道の整備,河川の浄化,海域環境の浄化に向けた取組
- ・自然海岸,藻場や干潟の保全,再生
- ・古鷹山など眺望に優れた山頂,古鷹記念公園などの森林を生かした自然体験の場としての活用
- ・切串人工干潟の海とふれあう場としての活用

オ 都市環境形成の方針

(ア) 人にやさしい都市環境の形成

- ・公共建築物や歩行者空間・公園などのバリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入
- ・公共施設における休憩施設の確保、交流・憩いの場などの拡充
- ・桟橋,主要なバス停周辺の高齢者や障害者等が利用しやすい環境整備
- ・民間建築物,住宅におけるバリアフリー化の促進

(イ) 緑豊かな市街地・集落の形成

- ・都市公園等,学校,その他公共施設の緑化の推進
- ・民有地の緑化の促進

カ 都市景観形成の方針

- ・江田島地域を特徴づける海と島の自然景観の保全
- ・遊休農地への花の植栽などによる農業景観等の保全・創出
- ・旧海軍兵学校周辺の歴史的建造物と調和した道路空間の美装化や街並みづくり
- ・主要道路沿い,港周辺の良好な景観形成
- ・市街地・集落における敷地の緑化などによる美しい景観づくり
- ・建築物や屋外広告物等の適正な掲出の誘導

キ 防災都市づくりの方針

(ア) 災害に強い都市構造の形成

- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬地区,広域避難地等の大規模災害時における防災拠点 としての機能の確保
- ・公共建築物,公共施設の不燃化,耐震化の推進,民間建築物の不燃化,耐震化等の促進
- ・市街地・集落における避難場所,避難路などの確保
- ・緊急輸送道路に位置づけられている国道 487号などの未整備区間の整備

(イ) 自然災害の防止

- ・土砂災害警戒区域に指定されている小用地区周辺の斜面緑地の防災対策の推進
- ・災害危険箇所の急傾斜地崩壊危険区域の指定等の防災対策の推進
- ・堤防や護岸の新設・改良、防潮扉の適切な管理などによる海岸線の保全の促進
- ・浸水被害を防止するための生活排水路や下水道の整備,都市下水路などの維持管理
- ・砂防指定地内河川などの整備

ク 市民等と行政との協働による都市づくりの方針

市民等と行政との協働により、次のような取組を進めます。

- ・道路の清掃・美化活動など美しい道づくり
- ・港湾の清掃・美化活動,情報発信,特産品の販売,交流の場などとしての活用
- ・都市公園等の維持管理,計画づくりや(再)整備などにおける市民参加
- ・ごみの減量化,リサイクルの推進,ごみのポイ捨て等の防止などによる美しい環境づくり
- ・緑地の保全、民有地の緑化など都市緑化の促進
- ・地域資源の保全・活用や緑化・美化活動による美しい景観づくり
- ・自治会などの自主防災組織の育成・強化など地域における防災体制の強化
- ・防犯マップの作成,周知など地域における防犯体制の強化

将来構想図(江田島地域)

【都市づくりの目標】

- ・広島市、呉市への海の玄関口としての交通結節機能の充実・強化
- ・商業・業務機能の充実による市民生活の魅力を高める都市拠点の
- ・広域的な観光客の受け入れ、交流の促進による賑わいの創出
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成

【都市づくりのテーマ】

『観光・交流を基軸とした賑わい豊かな都市づくり』

【幸ノ浦・大須地区】

トワークの形成

- 良好な環境の住宅地の形成
- 大須桟橋の環境整備,情報提供機能の強化
- 主要な生活道路の整備等による住環境の向上 主要道路における歩行者・自転車空間のネッ

広島市へ

幸ノ浦・大須

国立江田島 青少年交流 の家周辺

.

【都市軸】

ングロードの整備(歩道の整備・活用,並行す る生活道路の活用,通行区分の表示など)

【サイクリングロード】

広島市へ

切串

古鷹山

鷲部

江南·飛渡瀬

切串人工干潟

宮ノ原、

海上自衛隊第1術科学

津久茂

都市拠点,地域拠点,交通結節機能を有

交通機能の充実・強化、沿道への都市機

する生活拠点を結ぶ主要な道路

能の立地誘導,沿道の景観づくり

休憩所,公園等の配置(休憩,展望,案内・情 報提供,特産品の提供等)

広島市へ

呉市へ

N用7

江田島公園

秋月

呉市へ

呉市へ

【地域軸】

市街地・集落を結び、島内を周遊するサイクリ

- 【切串地区 生活拠点】
- ・商業機能・交通結節機能の充実・強化
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・適切な建築活動の誘導
- ・切串西沖, 吹越桟橋周辺のバリアフリー化等の環境整備, 情報提供機能の強化
- 下水道の整備
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの

古鷹山の自然レクリエー ション地としての活用

【宮ノ原地区】

- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネッ トワークの形成

国立江田島青少年交流の家の広 域的な交流施設としての活用

【津久茂地区】

- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネッ トワークの形成

国道 487号の津久茂架橋 の実現に向けた取組

【헽部地区】

- 良好な環境の住宅地の形成
- 下水道の整備
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネッ トワークの形成

【小用地区 生活拠点】

- ・商業機能・交通結節機能の充実・強化
- 良好な環境の住宅地の形成
- 適切な建築活動の誘導
- ・北部の工業地としての土地利用の維持、アクセス道路の 整備等
- ・小用港及び周辺のバリアフリー化等の環境整備
- ・小用港の埠頭用地, 浮桟橋, ターミナル施設等の整備, 情報提供機能の強化等
- 下水道の整備
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの

【中央地区 地域拠点】

- ・商業・行政サービス機能の充実・強化
- ・主要な公共施設周辺の道路,バス停などのバリアフリー
- ・旧海軍兵学校などの広域的な観光資源としての活用、周 辺の道路の歩行者空間の確保
- ・良好な環境の住宅地の形成
- 密集市街地の環境改善
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの

【秋月地区】

- 良好な環境の住宅地の形成
- 南部の工業地としての土地利用の維持、アクセス道路の 整備等
- ・下水道の整備

・地域拠点と生活拠点, コミュニティ

中心地, 観光・レクリエーション拠

点、産業ゾーン等を結ぶ主要な道路

交通機能の整備,沿道の景観づくり

- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・密集市街地の環境改善
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの 形成

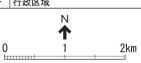
- ・商業・業務施設の立地誘導,交通結節機能の強化,新た な拠点的公共施設の配置等
- ・主要な公共施設周辺の道路、バス停などのバリアフリー
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・適切な建築活動の誘導
- 下水道の整備
- 主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- 主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの

【江南·飛渡瀬地区 都市拠点】

- ・江南地区東部の工業地としての土地利用の維持,アクセ ス道路の整備等

- 形成





2 - 2 能美地域

(1) 現況と課題

ア 現況と特性

(ア) 位置,地域特性

能美地域は,本市の中央部に位置し,広島市と航路で結ばれています。また,中町に市役所が設置されており,行政サービスの中心地としての役割を担っています。

地域の西部に本市の最高峰である野登呂山,東部に真道山を頂点とする自然環境豊かな山林が分布し,その山腹から海岸沿いに市街地・集落が形成されています。

本地域には,海に浮かぶ国民宿舎として知られる能美海上ロッジ,源泉温46 のシーサイド温泉のうみ,ヒューマンビーチ長瀬,真道山森林公園,鹿川水源地公園などのレクリエーション施設が集積しており,本市の観光・レクリエーション拠点としての役割を担っています。

(イ) 居住者の動向

平成17(2005)年国勢調査による人口は 5,812 人,世帯数は 2,432世帯です。

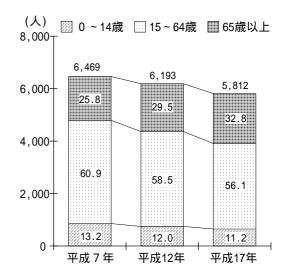
人口,世帯数とも減少傾向を続けており,平成7(1995)~17(2005)年の10年間の人口減少率は10.2%(全市は14.1%)と比較的高くなっています。

年齢三区分別人口割合は,15歳未満11.2% (全市 9.6%),15~64歳56.1%(同58.6%), 65歳以上32.8%(同31.7%)で,全市とほぼ同 じ割合となっています。

(ウ) 土地利用,都市基盤施設等

土地利用は,地域の東西の尾根筋に山林,山 ろく部に農地が分布しており,中町,高田,鹿 川の各地区の海岸沿いに市街地が形成されてい ます。

図 人口及び年齢三区分別人口割合の推移



商業地は,中町地区に行政施設,商業・業務施設などが集積し,地域の中心地としての役割を担っています。また,高田桟橋周辺に小規模な商業地が形成されています。

住宅地は,中町,高田,鹿川の各地区に形成されています。これらの住宅地は,計画的に開発された住宅団地を除き,道路整備水準の低い地区が多くなっています。

また,鹿川地区南部に石油貯蔵基地が分布しているほか,海岸沿いに小規模な工業地が形成されています。

公共交通は,乗合バスで各地区と市内,各桟橋などが結ばれ,航路は,中町,高田の各桟橋,能 美海上ロッジと広島方面が結ばれています。

主要道路は,国道 487号が南北軸を構成し,主要地方道高田沖美江田島線が補完する形で分布しています。

イ 地域の望ましい将来像に関する意向

地域の望ましい将来像については、地域全体では「福祉環境の充実したまち」をあげた人の割合が最も高く、次いで「自然環境が豊かな落ち着いた集落」「働く場が豊富なまち」「公共施設や商業施設が立地する便利なまち」「防災、防犯の取り組みの盛んなまち」が上位5項目にあげられています。

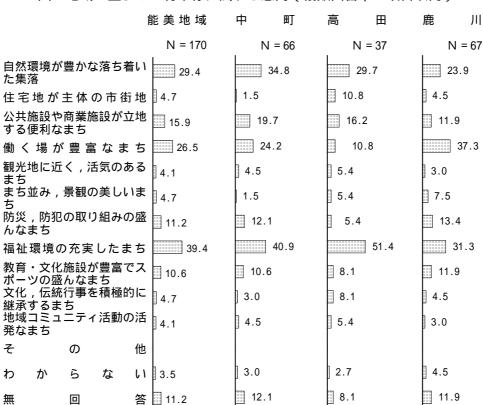


図 地域の望ましい将来像に関する意向(複数回答,2項目以内)

注:都市づくりに関するアンケート調査結果による。(Nは回答者数)

ウ 都市づくりの課題

(ア) 基本的な課題

本地域は,今後,少子高齢化が一層進むものと見込まれ,高齢者,障害者等が暮らしやすい都市づくりを進めるとともに,子育で世帯のニーズに対応した都市づくりを進め,人口定住を促進する必要があります。

また,人口定住を促進するため,産業基盤の整備,近隣都市への通勤条件の向上等により,産業の活性化と就業機会の拡大を図る必要があります。

(イ) 土地利用の課題

瀬戸内海に育まれた樹林地,海岸線などの良好な自然環境を,本市の貴重な地域資源として保全するとともに,無秩序な開発等に伴う自然災害を防止するため,適切な土地利用規制を行う必要があります。

市街地の広がっている中町,高田,鹿川の各地区について,合理的な土地利用を図るため,土地利用目的に応じた適切な土地利用や建築活動の規制,誘導を行う必要があります。

地域拠点に位置づけられる中町,生活拠点に位置づけられる高田,鹿川地区について,各拠点と しての都市機能の充実・強化を図る必要があります。

(ウ) 交通及び都市基盤施設の課題

能美地域と江田島地域との一体化を図るため,国道 487号津久茂・高田間の整備を促進する必要があります。

また,安全で快適な都市づくりを進めるため,身近な公園の整備,既設都市公園等の有効活用, 農地の市民農園としての活用,下水道の整備,河川・水路等の改修等を進める必要があります。

(I) 市街地・集落の居住環境の課題

市街地・集落における日常生活の利便性を確保するため、公共交通の充実、公共施設の整備、活用等により、生活サービス機能の向上を図る必要があります。

また,道路等の整備水準の低い市街地,住宅の密集により居住環境が悪化している中町,鹿川, 緊急車両の通行が困難な地区が連たんしている中町,高田地区については,生活道路の整備,防災 体制の強化等により,居住環境の向上と安全性の向上を図る必要があります。

(オ) 都市環境形成の課題

子どもたち,高齢者,障害者などが暮らしやすいよう,まちのバリアフリー化,通学路の確保, 歩道の整備などを進める必要があります。

このため,国道 487号(高田),主要地方道高田沖美江田島線(高田)などの歩道未整備区間の整備,桟橋や主要な公共施設周辺のバリアフリー化などを重点的に進める必要があります。

また,誰もが安全で安心して暮らせるよう,災害危険箇所周辺の防災対策,緊急輸送道路に指定されている主要地方道高田沖美江田島線の未整備区間の整備,市街地・集落における避難地,避難路の確保等を図る必要があります。

(カ) 地域資源に係る課題

本地域は,野登呂山,真道山が地域のランドマークを形成し,海と島による特徴のある景観が形成されており,これらの景観資源を生かした良好な景観を形成する必要があります。

また,能美海上ロッジ,シーサイド温泉のうみ,ヒューマンビーチ長瀬,真道山森林公園などのレクリエーション施設が集積しており,これらの観光・レクリエーション資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

さらに,地域住民のまちづくり活動への関心は高く,住民と行政との協働により,豊富な地域資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

(2) 都市づくりの目標

ア 地域の特徴と位置づけ

- ・市の中央に位置し,広島市と結ばれている
- ・中町に市役所、江田島市スポーツセンター、能美運動公園などの公共施設が集積
- ・能美海上ロッジ,シーサイド温泉のうみ,ヒューマンビーチ長瀬,真道山森林公園,鹿川水源 地公園などの観光・交流施設が分布

イ 都市づくりの目標

- ・行政サービス,スポーツの中心地としての都市機能の充実
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ、交流の促進による地域の活性化
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成(地域・生活拠点の形成,都市基盤の整備,バリアフリー化,防災等)

- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成(自然環境,歴史的・文化的環境,景観等)
- ウ 都市づくりのテーマ

『スポーツ・交流を基軸とした健康で活力ある都市づくり』

(3) 都市づくりの方針

ア 土地利用の方針

- ・中町,高田,鹿川地区における良好な環境の住宅地の形成
- ・地域拠点に位置づけられる中町,生活拠点に位置づけられる高田,鹿川地区における商業機能, 交通結節機能等の充実・強化
- ・鹿川地区の工場集積地における工業地としての土地利用の維持,アクセス道路の整備等による 産業機能の強化
- ・中町,高田,鹿川地区における適切な建築活動の誘導(都市計画区域,用途地域の指定の検討)
- ・農地の維持・保全,市民農園,観光農園などとしての活用
- ・森林の維持・保全,市民や近隣都市住民が自然とふれあえる場としての活用
- ・自然海岸,干潟などの保全
- ・能美海上ロッジ,源泉温46 のシーサイド温泉のうみ,ヒューマンビーチ長瀬,真道山森林公園,鹿川水源地公園などの観光・レクリエーション地における環境の整備

イ 都市施設の整備方針

(ア) 道路・交通体系

道路

- ・国道 487号,主要地方道高田沖美江田島線の歩道の設置の促進
- ・国道 487号の津久茂架橋の実現に向けた取組
- ・地域の防災・安全性、利便性・快適性を高めるための市道の整備
- ・農林業、観光・レクリエーションの振興等を図るための農道・林道の整備
- ・歩道の設置や拡幅、交差点の改良などによる安全な道路環境づくり
- ・歩道のバリアフリー化、透水性舗装などによる人と環境にやさしい道路の整備
- ・観光ネットワークの形成に向けたサイクリングロード,ポケットパークなどの整備,情報提供機能の充実

港湾

- ・中田港の浮桟橋,物揚場,防波堤,ターミナル施設,駐車場などの整備の促進
- ・中町,高田の各桟橋におけるターミナル施設等のデザイン化,情報提供機能の充実,休憩の場の確保・充実,バリアフリー化,緑化・修景

公共交通体系

・フェリーや高速旅客船の安全対策の充実,バリアフリー化,案内・情報提供機能等の充実

(イ) 都市公園等

- ・能美運動公園、その他の既設の都市公園等の有効活用
- ・必要に応じた墓園の整備
- ・小中学校跡地のグランド等の市民の身近なレクリエーションの場としての活用

- ・都市公園等を結ぶ安全で快適な歩行者空間のネットワークの形成
- ・観光・レクリエーション地など地域資源を結ぶ歩道や遊歩道,周遊コース等の保全・充実

(ウ) 下水道

- ・鹿川地区における下水道の整備
- ・浄化センターの適切な管理

(I) ごみ処理施設

・環境センター(最終処分場)の施設・設備の更新,跡地の有効活用の検討

ウ 市街地・集落の整備方針

- ・市街地・集落と都市拠点,地域拠点,生活拠点等と結ぶ公共交通の充実,生活道路の整備等による利便性の向上
- ・生活中心地における公共施設の整備・活用、公共施設周辺のバリアフリー化
- ・建築物の規制,誘導による接道の確保,建物用途の混在化の防止等
- ・中町,高田地区における緊急車両の通行可能な生活道路の整備の検討
- ・高密度な市街地が形成されている中町,鹿川地区における建物の不燃化・難燃化の促進,オープンスペースの確保,避難場所,避難路の確保
- ・居住環境の改善と地域活性化を図るための老朽住宅及び空き家の除却,再生,活用などの推進

エ 自然環境の保全・活用の方針

- ・野登呂山周辺,真道山周辺の良好な自然環境を有する森林を保全するための開発許可制度,風 致地区などの地域指定など関係法令の適切な運用(都市計画区域の指定の検討)
- ・開発行為等における自然環境の保全、景観への配慮などの適切な指導
- ・枯木の伐倒処理や造林,育林,竹林対策の推進
- ・下水道の整備,河川の浄化,海域環境の浄化に向けた取組
- ・自然海岸,藻場や干潟の保全,再生
- ・野登呂山,真道山など眺望に優れた山頂,真道山森林公園,鹿川水源地公園などの森林を生か した自然体験の場としての活用
- ・ヒューマンビーチ長瀬の海とふれあう場としての活用

オ 都市環境形成の方針

(ア) 人にやさしい都市環境の形成

- ・公共建築物や歩行者空間・公園などのバリアフリー化,ユニバーサルデザインの導入
- ・公共施設における休憩施設の確保、交流・憩いの場などの拡充
- ・桟橋,主要なバス停周辺の高齢者や障害者等が利用しやすい環境整備
- ・民間建築物,住宅におけるバリアフリー化の促進

(イ) 緑豊かな市街地・集落の形成

- ・都市公園等,学校,その他公共施設の緑化の推進
- ・民有地の緑化の促進

カ 都市景観形成の方針

- ・能美地域を特徴づける海と島の自然景観の保全
- ・遊休農地への花の植栽などによる農業景観等の保全・創出
- ・中田港の風景などと調和した道路空間の美装化,美しい街並みづくり
- ・主要道路沿い,港周辺の良好な景観形成
- ・市街地・集落における敷地の緑化などによる美しい景観づくり
- ・建築物や屋外広告物等の適正な掲出の誘導

キ 防災都市づくりの方針

(ア) 災害に強い都市構造の形成

- ・広域避難地等における大規模災害時における防災拠点としての機能の確保
- ・公共建築物,公共施設の不燃化,耐震化の推進,民間建築物の不燃化,耐震化等の促進
- ・市街地・集落における避難場所,避難路などの確保

(イ) 自然災害の防止

- ・災害危険箇所の急傾斜地崩壊危険区域の指定等の防災対策の推進
- ・堤防や護岸の新設・改良、防潮扉の適切な管理などによる海岸線の保全の促進
- ・浸水被害を防止するための生活排水路や下水道の整備
- ・砂防指定地内河川などの整備

ク 市民等と行政との協働による都市づくりの方針

市民等と行政との協働により、次のような取組を進めます。

- ・道路の清掃・美化活動など美しい道づくり
- ・港湾の清掃・美化活動,情報発信,特産品の販売,交流の場などとしての活用
- ・都市公園等の維持管理,計画づくりや(再)整備などにおける市民参加
- ・ごみの減量化,リサイクルの推進,ごみのポイ捨て等の防止などによる美しい環境づくり
- ・緑地の保全、民有地の緑化など都市緑化の促進
- ・地域資源の保全・活用や緑化・美化活動による美しい景観づくり
- ・自治会などの自主防災組織の育成・強化など地域における防災体制の強化
- ・防犯マップの作成,周知など地域における防犯体制の強化

将来構想図(能美地域)

【都市づくりの目標】

- ・行政サービス、スポーツの中心地としての都市機能の充実
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ,交流の促進による地域の活性化
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成

【都市づくりのテーマ】

『スポーツ・交流を基軸とした健康で活力ある都市づくり』

【高田地区 生活拠点】

- ・商業機能・交通結節機能の充実・強化
- ・良好な環境の住宅地の形成
- 適切な建築活動の誘導
- ・高田桟橋周辺のバリアフリー化等の環境整備,情 報提供機能の強化
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワ ークの形成

【都市軸】

- ・都市拠点,地域拠点,交通結節機能を有する生活拠点を結ぶ主要な道路
- ・交通機能の充実・強化、沿道への都市機能の立地誘導、沿道の景観づくり

【地域軸】

- ・地域拠点と生活拠点,コミュニティ中心 地,観光・レクリエーション拠点,産業 ゾーン等を結ぶ主要な道路
- ・交通機能の整備、沿道の景観づくり

【鹿川地区 生活拠点】

- ・商業機能の充実・強化
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・工場集積地における工業地としての土地利用の 維持、アクセス道路の整備等
- 適切な建築活動の誘導
- ・下水道の整備
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・密集市街地の環境改善
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネット ワークの形成

【サイクリングロード】

能美海上ロッジ シーサイド温泉のうみ ヒューマンビーチ長瀬

高田

野登呂山

中町

- ・市街地・集落を結び、島内を周遊するサイクリングロードの整備(歩道の整備・活用、並行する生活道路の活用、通行区分の表示など)
- ・休憩所,公園等の配置(休憩,展望,案内・情報提供,特産品の提供等)

【中町地区 地域拠点】

- ・商業・行政サービス機能,交通結節機能の充実・強化
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・ 適切な建築活動の誘導
- ・主要な公共施設周辺の道路、バス停などのバリアフリー化
- ・中田港の浮桟橋,物揚場,防波堤,ターミナル施設,駐車場など の整備,情報提供機能の強化
- ・密集市街地の環境改善
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワークの形成

能美海上ロッジ,シーサイド温泉のうみ,ヒューマンビーチ長瀬,真道山森林公園,鹿川水源地公園などの観光・レクリエーション施設の活用

	凡例
0	都市拠点
0	地域拠点
0	生活拠点
•	コミュニティ中心地
0	交流・レクリエーション拠点
3	産業ゾーン
5	海と島の交流・レクリエーションゾーン
3	緑と眺望の交流・レクリエーションゾーン
•••	サイクリングロード
	住宅地
	商業地
	工業地
	集落地・農地
	自然緑地
	公園・レクリエーション用地
	公共公益施設用地
	防衛施設用地
	その他
	都市軸
	地域軸
\Leftrightarrow	海の交流ネットワーク軸
	行政区域



2 - 3 沖美地域

(1) 現況と課題

ア 現況と特性

(ア) 位置,地域特性

沖美地域は,本市の西部に位置し,広島市と航路で結ばれており,広島市への北の玄関口として 位置づけられます。

地域の東部に本市の最高峰である野登呂山,砲台山を頂点とする自然環境豊かな山林が分布し, その山腹から海岸沿いに市街地・集落が形成されています。

また,大黒神島をはじめ,自然海岸の豊富な島々が浮かび,良好な景観を呈しています。

本地域は,夕日の美しさで知られ,砲台山創造の森森林公園,サンビーチおきみ,入鹿海水浴場などのレクリエーション施設が整備されており,本市の観光・レクリエーション拠点としての役割を担っています。

(イ) 居住者の動向

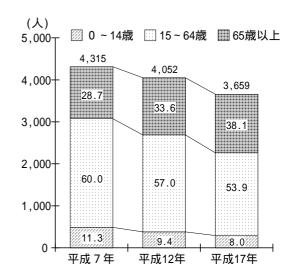
平成17(2005)年国勢調査による人口は 3,659人,世帯数は 1,628世帯です。

人口,世帯数とも減少傾向を続けており,平成7(1995)~17(2005)年の10年間の人口減少率は15.2%(全市は14.1%)と高くなっています。

年齢三区分別人口割合は,15歳未満 8.0% (全市 9.6%),15~64歳53.9%(同58.6%), 65歳以上38.1%(同31.7%)で,高齢化の進行 が顕著となっています。

一方,本市は,田舎暮らしを志向する都市住民等の移住による定住施策を進めていますが,本地域は平成20(2008)~21(2009)年度の2年間で13世帯(全市では27世帯)が定住しており,エターンの盛んな地域となっています。

図 人口及び年齢三区分別人口割合の推移



(ウ) 土地利用,都市基盤施設等

土地利用は,東部の尾根筋に山林,山ろく部に農地が分布しており,三吉,高祖,美能の海岸沿いに小規模な市街地,是長,畑,岡大王の山ろく部と海岸沿いに集落が形成されています。

商業地は,三高桟橋付近(以下「三高地区」といいます。)に店舗等が分布しているほかは,分散して分布しています。また,行政施設,公共施設用地等も,三高地区に支所,教育施設等が分布しているほかは分散して分布しています。

住宅地は,三吉,高祖,美能の各地区に小規模に形成されています。

工業地は、岡大王地区南部に、小規模な工業団地(能美金属工業団地)、農業団地(沖南農業団地、花栽培)が整備されています。

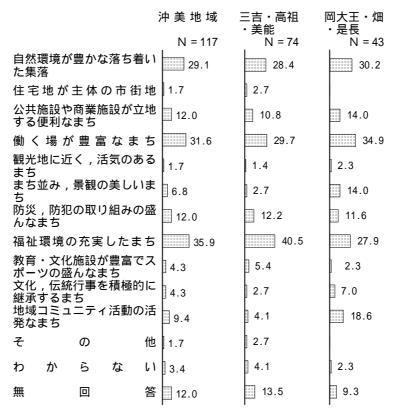
また,是長地区北部の海岸沿いは別荘地として利用されています。

公共交通は,乗合バスで各地区と市内,各桟橋などが結ばれ,航路は,三高桟橋と広島方面が結 ばれています。 主要道路は,主要地方道高田沖美江田島線が地域を循環する形で分布しています。

イ 地域の望ましい将来像に関する意向

地域の望ましい将来像については、地域全体では「福祉環境の充実したまち」をあげた人の割合が最も高く、次いで「働く場が豊富なまち」「自然環境が豊かな落ち着いた集落」「公共施設や商業施設が立地する便利なまち」「防災、防犯の取り組みの盛んなまち」が上位5項目にあげられています。

図 地域の望ましい将来像に関する意向(複数回答,2項目以内)



注:都市づくりに関するアンケート調査結果による。(Nは回答者数)

ウ 都市づくりの課題

(ア) 基本的な課題

本地域は、今後、少子高齢化が一層進むものと見込まれ、高齢者、障害者等が暮らしやすい都市づくりを進めるとともに、子育て世帯のニーズに対応した都市づくりを進め、人口定住を促進する必要があります。

また,人口定住を促進するため,産業基盤の整備,近隣都市への通勤条件の向上等により,産業の活性化と就業機会の拡大を図る必要があります。

さらに,本地域は,田舎暮らしを志向する都市住民等の移住による定住者が多くあり,現状の良好な自然・田園環境を維持するとともに,新旧住民の一体的なコミュニティの醸成等により,Iターンの促進を図る必要があります。

(イ) 土地利用の課題

瀬戸内海に育まれた樹林地,海岸線などの良好な自然環境を,本市の貴重な地域資源として保全するとともに,無秩序な開発等に伴う自然災害を防止するため,適切な土地利用規制を行う必要があります。

市街地の形成されている三吉,高祖,美能地区について,合理的な土地利用を図るため,土地利 用目的に応じた適切な土地利用や建築活動の規制,誘導を行う必要があります。

地域拠点に位置づけられる三高地区,生活拠点に位置づけられる畑・岡大王地区について,各拠点としての都市機能の充実・強化を図る必要があります。

(ウ) 交通及び都市基盤施設の課題

公共交通の充実を図るため、広島市への玄関口に位置づけられる三高桟橋へのアクセス道路となる主要地方道高田沖美江田島線の未整備区間の整備を図る必要があります。

また,沖美地域と江田島地域との一体化を図るため,国道 487号津久茂・高田間の整備を促進する必要があります。

さらに,安全で快適な都市づくりを進めるため,身近な公園の整備,既設都市公園等の有効活用, 農地の市民農園としての活用,河川・水路等の改修等を進める必要があります。

(I) 市街地・集落の居住環境の課題

小規模に分散した市街地・集落における日常生活の利便性を確保するため,公共交通の充実,公 共施設の整備,活用等により,生活サービス機能の向上を図る必要があります。

また,高密度な市街地の形成されている三吉,高祖,美能地区,緊急車両の通行が困難な地区が 分布している畑,是長地区について,生活道路の整備,防災体制の強化等により,居住環境の向上 と安全性の向上を図る必要があります。

(オ) 都市環境形成の課題

子どもたち,高齢者,障害者などが暮らしやすいよう,まちのバリアフリー化,通学路の確保, 歩道の整備などを進める必要があります。

このため,主要地方道高田沖美江田島線の歩道未整備区間の整備,桟橋や主要な公共施設周辺の バリアフリー化などを重点的に進める必要があります。

また,誰もが安全で安心して暮らせるよう,災害危険箇所周辺の防災対策,緊急輸送道路に指定されている主要地方道高田沖美江田島線の未整備区間の整備,市街地・集落における避難地,避難路の確保等を図る必要があります。

(カ) 地域資源に係る課題

本地域は、野登呂山、砲台山が地域のランドマークを形成し、自然海岸の豊富な景観が形成されており、これらの景観資源を生かした良好な景観を形成する必要があります。

この中で,本地域の南部に位置する大黒神島では,南部斜面で土砂採取が進み,景観が悪化しており,対策を検討する必要があります。

一方,本地域は,夕日の美しさで知られ,砲台山創造の森森林公園,サンビーチおきみ,沖南農業団地などの交流・レクリエーション施設が整備されており,これらの交流・レクリエーション資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

さらに,地域住民のまちづくり活動への関心は高く,住民と行政との協働により,豊富な地域資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

(2) 都市づくりの目標

ア 地域の特徴と位置づけ

- ・広島市への海の玄関口
- ・地域の西部は,瀬戸内海の眺望に優れ,夕日の美しさで有名
- ・砲台山創造の森森林公園、サンビーチおきみ、入鹿海水浴場などの観光・交流施設が分布
- ・田舎暮らしを志向する都市住民等の移住による定住者が多い

イ 都市づくりの目標

- ・広島市への北の玄関口としての交通結節機能の充実・強化
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ、交流の促進による地域の活性化
- ・田舎暮らしを志向する都市住民の受入れによる定住の促進
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成(地域・生活拠点の形成,都市基盤の整備,バリアフリー化,防災等)
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成(自然環境,歴史的・文化的環境,景観等)

ウ 都市づくりのテーマ

『地域資源を生かした定住・交流を先導する都市づくり』

(3) 都市づくりの方針

ア 土地利用の方針

- ・三吉,高祖,美能地区における良好な環境の住宅地の形成
- ・地域拠点に位置づけられる三高地区における商業機能,交通結節機能等の充実・強化
- ・生活拠点に位置づけられる畑・岡大王地区における公共施設の整備,活用によるコミュニティ 中心地としての機能の充実・強化
- ・能美金属工業団地における工業地としての土地利用の維持,アクセス道路の整備等による産業機能の強化
- ・三吉,高祖,美能地区における適切な建築活動の誘導(都市計画区域,用途地域の指定の検討)
- ・農地の維持・保全,市民農園,観光農園などとしての活用
- ・森林の維持・保全,市民や近隣都市住民が自然とふれあえる場としての活用
- ・自然海岸,干潟などの保全
- ・砲台山創造の森森林公園,サンビーチおきみ,入鹿海水浴場などの観光・レクリエーション地における環境の整備
- ・大黒神島南部の土砂採取場における跡地の景観対策、有効利用などの検討

イ 都市施設の整備方針

(ア) 道路・交通体系

道路

- ・主要地方道高田沖美江田島線の未整備区間の整備,歩道の設置の促進
- ・地域の防災・安全性,利便性・快適性を高めるための市道の整備
- ・農林業、観光・レクリエーションの振興等を図るための農道・林道の整備

- ・歩道の設置や拡幅,交差点の改良などによる安全な道路環境づくり
- ・歩道のバリアフリー化、透水性舗装などによる人と環境にやさしい道路の整備
- ・観光ネットワークの形成に向けたサイクリングロード,ポケットパークなどの整備,情報提供機能の充実

港湾

- ・三高港の交流施設など地域活性化に資する施設・設備の整備
- ・三高桟橋におけるターミナル施設等のデザイン化,情報提供機能の充実,休憩の場の確保・ 充実,バリアフリー化,緑化・修景

公共交通体系

・フェリーや高速旅客船の安全対策の充実、バリアフリー化、案内・情報提供機能等の充実

(イ) 都市公園等

- ・鹿田公園、その他の既設の都市公園等の有効活用
- ・必要に応じた墓園の整備
- ・小中学校跡地のグランド等の市民の身近なレクリエーションの場 , I ターン者も含めた地域コミュニティ活動の場としての活用
- ・都市公園等を結ぶ安全で快適な歩行者空間のネットワークの形成
- ・観光・レクリエーション地など地域資源を結ぶ歩道や遊歩道,周遊コース等の保全・充実

(ウ) 下水道

・浄化センターの適切な管理

(I) ごみ処理施設

・環境センター(最終処分場)の施設・設備の更新,跡地の有効活用の検討

ウ 市街地・集落の整備方針

- ・市街地・集落と都市拠点,地域拠点,生活拠点等と結ぶ公共交通の充実,生活道路の整備等に よる利便性の向上
- ・生活中心地における公共施設の整備・活用、公共施設周辺のバリアフリー化
- ・三吉,高祖,美能地区における建築物の規制,誘導による接道の確保,建物用途の混在化の防止等
- ・畑,是長地区における緊急車両の通行可能な生活道路の整備の検討
- ・高密度な市街地が形成されている三吉,高祖,美能地区における建物の不燃化・難燃化の促進, オープンスペースの確保,避難場所,避難路の確保
- ・居住環境の改善と地域活性化を図るための老朽住宅及び空き家の除却,再生,活用などの推進

エ 自然環境の保全・活用の方針

- ・野登呂山周辺,砲台山周辺の良好な自然環境を有する森林を保全するための開発許可制度,風 致地区などの地域指定など関係法令の適切な運用(都市計画区域の指定の検討)
- ・開発行為等における自然環境の保全、景観への配慮などの適切な指導
- ・枯木の伐倒処理や造林,育林,竹林対策の推進
- ・下水道の整備,河川の浄化,海域環境の浄化に向けた取組
- ・自然海岸,藻場や干潟の保全,再生
- ・野登呂山、砲台山など眺望に優れた山頂を生かした自然体験の場としての活用

・入鹿海岸の海とふれあう場としての活用

オ 都市環境形成の方針

(ア) 人にやさしい都市環境の形成

- ・公共建築物や歩行者空間・公園などのバリアフリー化,ユニバーサルデザインの導入
- ・公共施設における休憩施設の確保,交流・憩いの場などの拡充
- ・桟橋,主要なバス停周辺の高齢者や障害者等が利用しやすい環境整備
- ・民間建築物,住宅におけるバリアフリー化の促進

(イ) 緑豊かな市街地・集落の形成

- ・都市公園等,学校,その他公共施設の緑化の推進
- ・民有地の緑化の促進

カ 都市景観形成の方針

- ・沖美地域を特徴づける海と島の自然景観の保全
- ・遊休農地への花の植栽などによる農業景観等の保全・創出
- ・主要道路沿い,港周辺の良好な景観形成
- ・市街地・集落における敷地の緑化などによる美しい景観づくり
- ・建築物や屋外広告物等の適正な掲出の誘導

キ 防災都市づくりの方針

(ア) 災害に強い都市構造の形成

- ・広域避難地等の大規模災害時における防災拠点としての機能の確保
- ・公共建築物、公共施設の不燃化、耐震化の推進、民間建築物の不燃化、耐震化等の促進
- ・市街地・集落における避難場所,避難路などの確保

(イ) 自然災害の防止

- ・災害危険箇所の急傾斜地崩壊危険区域の指定等の防災対策の推進
- ・堤防や護岸の新設・改良、防潮扉の適切な管理などによる海岸線の保全の促進
- ・浸水被害を防止するための生活排水路や下水道の整備
- ・砂防指定地内河川などの整備

ク 市民等と行政との協働による都市づくりの方針

市民等と行政との協働により、次のような取組を進めます。

- ・道路の清掃・美化活動など美しい道づくり
- ・港湾の清掃・美化活動,情報発信,特産品の販売,交流の場などとしての活用
- ・都市公園等の維持管理,計画づくりや(再)整備などにおける市民参加
- ・ごみの減量化,リサイクルの推進,ごみのポイ捨て等の防止などによる美しい環境づくり
- ・緑地の保全、民有地の緑化など都市緑化の促進
- ・地域資源の保全・活用や緑化・美化活動による美しい景観づくり
- ・自治会などの自主防災組織の育成・強化など地域における防災体制の強化
- ・防犯マップの作成、周知など地域における防犯体制の強化

将来構想図(沖美地域)

【都市づくりの目標】

- ・広島市への海の玄関口としての交通結節機能の充実・強化
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ、交流の促進による地域の活 性化
- ・田舎暮らしを志向する都市住民の受入れによる定住の促進
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成

【都市づくりのテーマ】

『地域資源を生かした定住・交流を先導する都市づくり』

【美能地区】

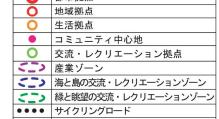
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・ 適切な建築活動の誘導
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・密集市街地の環境改善
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワ ークの形成

【サイクリングロード】

- 市街地・集落を結び、島内を周遊するサイクリ ングロードの整備(歩道の整備・活用,並行す る生活道路の活用,通行区分の表示など)
- 休憩所,公園等の配置(休憩,展望,案内・情 報提供,特産品の提供等)

砲台山創造の森森林公園, サンビーチおきみ, 入鹿海水浴場などの観光・レクリエーション 地の活用

【地域軸】



凡



○ 都市拠点

集落地・農地 自然緑地 ■ 公園・レクリエーション用地

公共公益施設用地 | 防衛施設用地

その他 都市軸 地域軸

→ 海の交流ネットワーク軸 ----- 行政区域

・適切な建築活動の誘導 フリー化 広島市へ 密集市街地の環境改善 (B) 1ac ークの形成 美能 【都市軸】 砲台山 創造の森 森林公園 鹿田公園 サンビーチおきる入鹿海水浴場 畑・岡大王 野登呂山 アクセス道路の整備等 地域拠点と生活拠点、コミュニティ 中心地, 観光・レクリエーション拠 ークの形成 点,産業ゾーン等を結ぶ主要な道路 交通機能の整備、沿道の景観づくり

大黒神島

【三高地区 地域拠点】

- ・商業・行政サービス機能,交通結節機能の充実・
- ・良好な環境の住宅地の形成
- ・主要な公共施設周辺の道路,バス停などのバリア
- 三高港の交流施設など地域活性化に資する施設・ 設備の整備、情報提供機能の強化
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワ
- ・都市拠点,地域拠点,交通結節機能を有 する生活拠点を結ぶ主要な道路
- 交通機能の充実・強化、沿道への都市機 能の立地誘導,沿道の景観づくり

【畑・岡大王地区 生活拠点】

- ・沖美支所周辺における公共施設の整備、活用によ る生活拠点としての機能の充実・強化
- 南部の工業団地の工業地としての土地利用の維持,
- 田舎暮らしを志向する都市住民を受け入れるため の空き家の活用など
- ・主要な生活道路の整備等による住環境の向上
- ・主要道路における歩行者・自転車空間のネットワ

大黒神島南部の土砂採取場における跡地の 景観対策,有効利用などの検討

2 - 4 大柿地域

(1) 現況と課題

ア 現況と特性

(ア) 位置,地域特性

大柿地域は、本市の南部に位置し、早瀬大橋を経て陸路で呉市と結ばれており、南の玄関口として位置づけられます。

地域の南部に瀬戸内海を 360度展望できる陀峯山を頂点とする自然環境豊かな山林が分布し,その山腹から海岸沿いに市街地・集落が形成されています。

また,陀峯山の南斜面には,羅漢石,天狗岩などの奇岩,巨岩が分布し,自然海岸も多く残されており,特徴的な景観を呈しています。本地域の西部に位置する沖野島には,マリーナ施設などの民間レクリエーション施設が立地しており,江田島市総合計画において,大黒神島とともに,海と島の交流レクリエーションゾーンのひとつに位置づけられています。

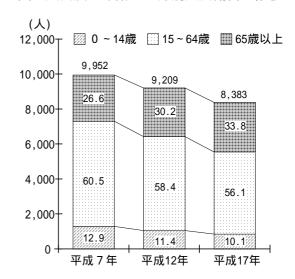
(イ) 居住者の動向

平成17(2005)年国勢調査による人口は 8,383 人,世帯数は 3,526世帯です。

人口,世帯数とも減少傾向を続けており,平成7(1995)~17(2005)年の10年間の人口減少率は15.8%(全市は14.1%)と高くなっています。

年齢三区分別人口割合は,15歳未満10.1% (全市 9.6%),15~64歳56.1%(同58.6%), 65歳以上33.8%(同31.7%)で,65歳以上の 割合が沖美地域に次いで高くなっています。

図 人口及び年齢三区分別人口割合の推移



(ウ) 土地利用,都市基盤施設等

土地利用は,南部一体と北部の尾根筋に山林,山ろく部に農地が分布し,海岸沿いに市街地・集落が分散して分布しています。

商業地は,大原地区に行政施設,商業・業務施設が集積し,地域の中心地としての役割を担っています。また,江南・飛渡瀬地区に大規模小売店が多く立地し,本市の商業拠点が形成されています。

住宅地は,小古江,大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区などに分散して分布しています。 また,大君,柿浦地区に,西日本有数の歴史を有する紡績工場を含む小規模な工業地が形成されています。

一方,大原地区は,県立大柿高校,大柿自然環境体験学習交流館,大柿地区歴史資料館などの教育・文化施設が集積しています。

公共交通は,乗合バスで各地区と市内が結ばれています。

主要道路は,国道 487号と主要地方道江田島大柿線が南北の軸を構成し,一般県道深江柿浦線,同大君深江線(一部未供用)が地域を周遊する形で分布しています。

イ 地域の望ましい将来像に関する意向

地域の望ましい将来像については,地域全体では「福祉環境の充実したまち」「働く場が豊富なまち」「自然環境が豊かな落ち着いた集落」が上位3項目にあげられています。

図 地域の望ましい将来像に関する意向(複数回答,2項目以内)

		小古江・大 原	深 江	大君・柿浦	江南・飛渡 瀬
	N = 215	N = 80	N = 26	N = 64	/本具 N = 70
自然環境が豊かな落ち着い た集落	27.0	31.3	30.8	23.4	25.7
住宅地が主体の市街地	3.7	2.5	7.7	1.6	4.3
公共施設や商業施設が立地 する便利なまち	17.2	13.8	30.8	15.6	18.6
働く場が豊富なまち	30.7	30.0	26.9	21.9	38.6
観光地に近く,活気のあるまち	1.4	2.5			2.9
まち並み , 景観の美しいまち	8.4	7.5	15.4	7.8	8.6
防災,防犯の取り組みの盛 んなまち	13.0	12.5	7.7	18.8	11.4
福祉環境の充実したまち	31.2	31.3	30.8	37.5	25.7
教育・文化施設が豊富でス ポーツの盛んなまち	9.3	15.0] 3.8	6.3	5.7
文化,伝統行事を積極的に 継承するまち	2.3	2.5		4.7	
地域コミュニティ活動の活 発なまち	4.7	5.0		7.8	2.9
そ の 他	0.5	1.3			
わ か ら な い	1.4	1.3		3.1	2.9
無 回 答	14.9	11.3	19.2	14.1	17.1
	I		•	•	

注-1:都市づくりに関するアンケート調査結果による。(Nは回答者数)

-2: 大柿地域の合計は,江南地区の回答者数(25件)を含まない。

ウ 都市づくりの課題

(ア) 基本的な課題

本地域は、今後、少子高齢化が一層進むものと見込まれ、高齢者、障害者等が暮らしやすい都市づくりを進めるとともに、子育て世帯のニーズに対応した都市づくりを進め、人口定住を促進する必要があります。

また,人口定住を促進するため,産業基盤の整備,近隣都市への通勤条件の向上等により,産業の活性化と就業機会の拡大を図る必要があります。

(イ) 土地利用の課題

瀬戸内海に育まれた樹林地,海岸線などの良好な自然環境を,本市の貴重な地域資源として保全するとともに,無秩序な開発等に伴う自然災害を防止するため,適切な土地利用規制を行う必要があります。

市街地の広がっている小古江,大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区について,合理的な土地利用を図るため,土地利用目的に応じた適切な土地利用や建築活動の規制,誘導を行う必要があります。

都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬,地域拠点に位置づけられる大原,生活拠点に位置づけられる柿浦の各地区について,各拠点としての都市機能の充実・強化を図る必要があります。

(ウ) 交通及び都市基盤施設の課題

公共交通の充実を図るため,江田島,能美地域の桟橋へのアクセス道路となる国道 487号の未整備区間の整備,バス路線の充実などを図る必要があります。

また、地域内の市街地・集落の連絡機能を強化するため、一般県道大君深江線の未供用区間を整備する必要があります。

さらに,安全で快適な都市づくりを進めるため,都市計画道路未整備区間の整備,身近な公園の 整備,既設都市公園等の有効活用,下水道の整備,河川・水路等の改修等を進める必要があります。

(I) 市街地・集落の居住環境の課題

小規模に分散した市街地・集落における日常生活の利便性を確保するため、公共交通の充実、公共施設の整備、活用等により、生活サービス機能の向上を図る必要があります。

また,住宅の密集により居住環境が悪化している大原,深江,大君,柿浦地区,緊急車両の通行が困難な地区が連たんしている大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区については,生活道路の整備,防災体制の強化等により,居住環境の向上と安全性の向上を図る必要があります。

(オ) 都市環境形成の課題

子どもたち,高齢者,障害者などが暮らしやすいよう,まちのバリアフリー化,通学路の確保, 歩道の整備などを進める必要があります。

このため,主要地方道江田島大柿線(飛渡瀬),一般県道大君深江線(深江)などの歩道未整備 区間の整備,主要な公共施設周辺のバリアフリー化などを重点的に進める必要があります。

また,誰もが安全で安心して暮らせるよう,災害危険箇所周辺の防災対策,緊急輸送道路に指定されている国道 487号の未整備区間の整備,市街地・集落における避難地,避難路の確保等を図る必要があります。

(カ) 地域資源に係る課題

本地域は, 陀峯山が地域のランドマークを形成し, その南斜面には, 羅漢石, 天狗岩などの奇岩, 巨岩が分布し, 自然海岸も多く, 特徴的な景観を呈しており, これらの景観資源を生かした良好な景観を形成する必要があります。

この中で, 陀峯山の南側斜面では土砂採取が進み, 景観が悪化しており, 対策を検討する必要があります。

一方,本地域の西部に位置する沖野島には,マリーナ施設などの民間レクリエーション施設が立地し,大黒神島とともに,海と島の交流レクリエーションゾーンのひとつに位置づけられており, これらの観光・レクリエーション資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

また,大原地区には,県立大柿高校,大柿自然環境体験学習交流館,大柿地区歴史資料館などの教育・文化施設が集積しており,これらを生かした都市づくりを進める必要があります。

さらに,地域住民のまちづくり活動への関心は高く,住民と行政との協働により,豊富な地域資源を生かした都市づくりを進める必要があります。

(2) 都市づくりの目標

ア 地域の特徴と位置づけ

- ・呉市への陸の玄関口
- ・江南・飛渡瀬地区に広域的な商業施設が多く立地
- ・大原地区に県立大柿高校,大柿自然環境体験学習交流館,大柿地区歴史資料館などの教育・文

化施設が集積

・沖野島にマリーナ施設,南部に長浜海水浴場があるなどレクリエーション地が豊富

イ 都市づくりの目標

- ・呉市への陸の玄関口としての交通機能の充実・強化
- ・商業・業務機能の充実により生活の魅力を高める都市拠点の形成
- ・県立大柿高校、大柿自然環境体験学習交流館などを生かした教育環境の整った都市づくり
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ、交流の促進による地域の活性化
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成(地域・生活拠点の形成,都市基盤の整備,バリアフリー化,防災等)
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成(自然環境,歴史的・文化的環境,景観等)

ウ 都市づくりのテーマ

『教育・交流を基軸とした豊かな文化を創造する都市づくり』

(3) 都市づくりの方針

ア 土地利用の方針

- ・小古江,大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区における良好な環境の住宅地の形成
- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬地区における商業・業務施設の立地誘導,交通結節機 能の強化,新たな拠点的公共施設の配置などによる都市機能の充実,強化
- ・地域拠点に位置づけられる大原,生活拠点に位置づけられる柿浦地区における商業機能,交通機能等の充実・強化
- ・大君, 柿浦, 江南・飛渡瀬地区の工場集積地における工業地としての土地利用の維持, アクセス道路の整備等による産業機能の強化
- ・小古江,大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区における適切な建築活動の誘導(用途地 域の指定の検討)
- ・農地の維持・保全,市民農園,観光農園などとしての活用
- ・森林の維持・保全,市民や近隣都市住民が自然とふれあえる場としての活用
- ・自然海岸,干潟などの保全
- ・沖野島マリーナ周辺,陀峯山,長浜海水浴場などにおける観光・レクリエーション地としての 環境の整備
- ・陀峯山南側斜面の土砂採取場における跡地の景観対策,有効利用などの検討

イ 都市施設の整備方針

(ア) 道路・交通体系

道路

- ・国道 487号の未整備区間の整備の促進(都市計画道路塩形線のルートの見直し(大原,大君))
- ・江田島地域と大柿地域をつなぐ南北軸としての主要地方道江田島大柿線の未整備区間の整備 の促進(都市計画道路江田島大君線の未整備区間のルートの見直し,整備(大原,深江))
- ・一般県道大君深江線,同深江柿浦線の整備の促進
- ・地域の防災・安全性、利便性・快適性を高めるための市道の整備
- ・農林業、観光・レクリエーションの振興等を図るための農道・林道の整備

- ・歩道の設置や拡幅,交差点の改良などによる安全な道路環境づくり
- ・歩道のバリアフリー化、透水性舗装などによる人と環境にやさしい道路の整備
- ・観光ネットワークの形成に向けたサイクリングロード,ポケットパークなどの整備,情報提供機能の充実

公共交通体系

・深江地区におけるバス路線の確保・充実

(イ) 都市公園等

- ・小古江,大原,柿浦,江南・飛渡瀬における身近な公園の確保
- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬地区における市民の憩いの場としての公園の整備
- ・江田島市総合運動公園,既設の都市公園等の有効活用
- ・必要に応じた墓園の整備
- ・小中学校跡地のグランド等の市民の身近なレクリエーションの場としての活用
- ・都市公園等を結ぶ安全で快適な歩行者空間のネットワークの形成
- ・観光・レクリエーション地など地域資源を結ぶ歩道や遊歩道,周遊コース等の保全・充実

(ウ) 下水道

- ・小古江,大原,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区における下水道の整備
- ・飛渡瀬地区における都市下水路の維持
- ・浄化センターの適切な管理

(I) ごみ処理施設

・環境センター(最終処分場)の施設・設備の更新,跡地の有効活用の検討

ウ 市街地・集落の整備方針

- ・市街地・集落と都市拠点,地域拠点,生活拠点等を結ぶ公共交通の充実,生活道路の整備等による利便性の向上
- ・生活中心地における公共施設の整備・活用,公共施設周辺のバリアフリー化
- ・建築物の規制,誘導による接道の確保,建物用途の混在化の防止等
- ・大原,深江,大君,柿浦,江南・飛渡瀬地区などにおける緊急車両の通行可能な生活道路の整備の検討
- ・高密度な市街地が形成されている大原,大君,柿浦地区などの密集市街地における建物の不燃 化・難燃化の促進,オープンスペースの確保,避難場所,避難路の確保
- ・居住環境の改善と地域活性化を図るための老朽住宅及び空き家の除却,再生,活用などの推進

エ 自然環境の保全・活用の方針

- ・陀峯山周辺など良好な自然環境を有する森林を保全するための開発許可制度,風致地区などの 地域指定など関係法令の適切な運用
- ・開発行為等における自然環境の保全、景観への配慮などの適切な指導
- ・枯木の伐倒処理や造林、育林、竹林対策の推進
- ・下水道の整備,河川の浄化,海域環境の浄化に向けた取組
- ・自然海岸,藻場や干潟の保全,再生
- ・陀峯山など眺望に優れた山頂の森林を生かした自然体験の場としての活用
- ・沖野島,長浜海水浴場などの海とふれあう場としての活用

オ 都市環境形成の方針

(ア) 人にやさしい都市環境の形成

- ・公共建築物や歩行者空間・公園などのバリアフリー化,ユニバーサルデザインの導入
- ・公共施設における休憩施設の確保,交流・憩いの場などの拡充
- ・主要なバス停周辺の高齢者や障害者等が利用しやすい環境整備
- ・民間建築物,住宅におけるバリアフリー化の促進

(イ) 緑豊かな市街地・集落の形成

- ・都市公園等,学校,その他公共施設の緑化の推進
- ・民有地の緑化の促進

カ 都市景観形成の方針

- ・大柿地域を特徴づける海と島の自然景観の保全
- ・遊休農地への花の植栽などによる農業景観等の保全・創出
- ・主要道路沿い,港周辺の良好な景観形成
- ・市街地・集落における敷地の緑化などによる美しい景観づくり
- ・建築物や屋外広告物等の適正な掲出の誘導

キ 防災都市づくりの方針

(ア) 災害に強い都市構造の形成

- ・都市拠点に位置づけられる江南・飛渡瀬,広域避難地等の大規模災害時における防災拠点としての機能の確保
- ・公共建築物,公共施設の不燃化,耐震化の推進,民間建築物の不燃化,耐震化等の促進
- ・市街地・集落における避難場所,避難路などの確保
- ・緊急輸送道路に位置づけられている国道 487号などの未整備区間の整備

(イ) 自然災害の防止

- ・災害危険箇所の急傾斜地崩壊危険区域の指定等の防災対策の推進
- ・堤防や護岸の新設・改良、防潮扉の適切な管理などによる海岸線の保全の促進
- ・浸水被害を防止するための生活排水路や下水道の整備,都市下水路などの維持管理
- ・砂防指定地内河川などの整備

ク 市民等と行政との協働による都市づくりの方針

市民等と行政との協働により、次のような取組を進めます。

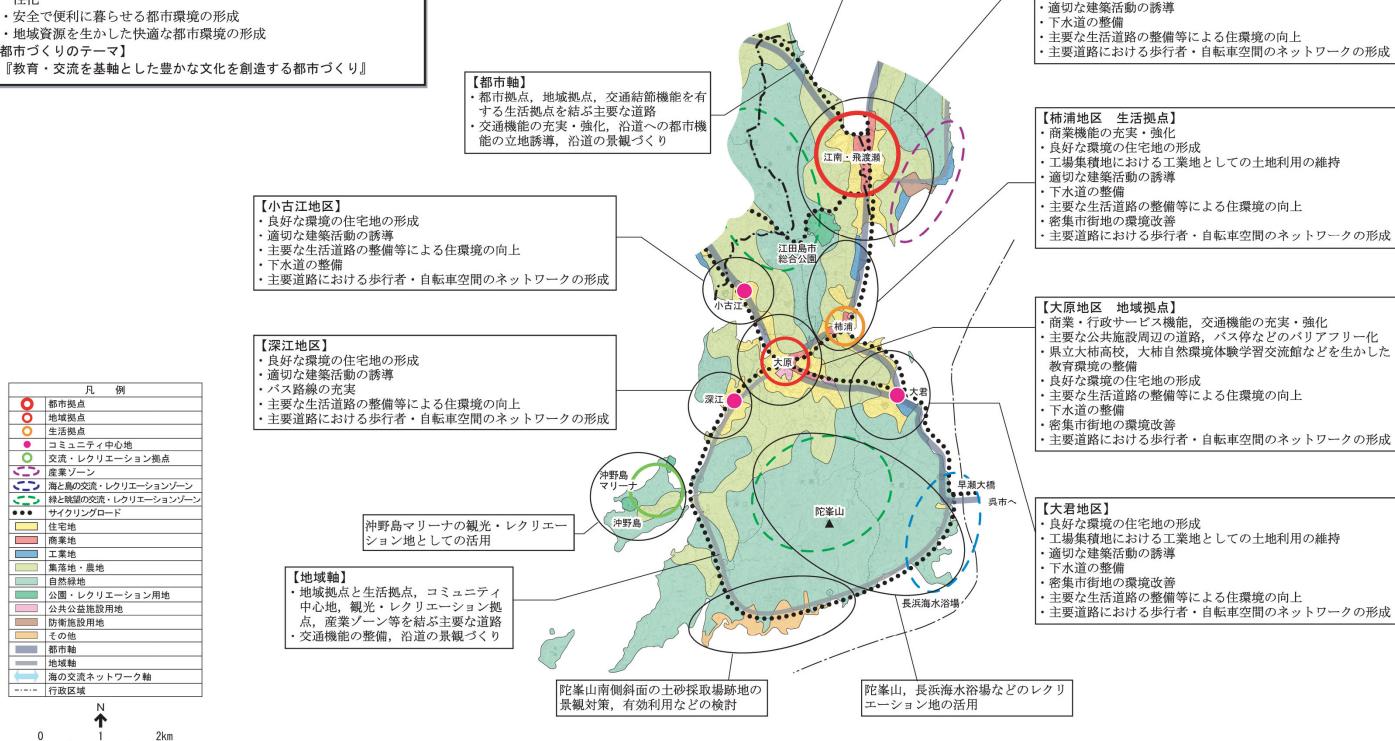
- ・道路の清掃・美化活動など美しい道づくり
- ・港湾の清掃・美化活動,情報発信,特産品の販売,交流の場などとしての活用
- ・都市公園等の維持管理,計画づくりや(再)整備などにおける市民参加
- ・ごみの減量化,リサイクルの推進,ごみのポイ捨て等の防止などによる美しい環境づくり
- ・緑地の保全、民有地の緑化など都市緑化の促進
- ・地域資源の保全・活用や緑化・美化活動による美しい景観づくり
- ・自治会などの自主防災組織の育成・強化など地域における防災体制の強化
- ・防犯マップの作成、周知など地域における防犯体制の強化

将来構想図(大柿地域)

【都市づくりの目標】

- ・呉市への陸の玄関口としての交通機能の充実・強化
- ・商業・業務機能の充実により生活の魅力を高める都市拠点の形成
- ・県立大柿高校、大柿自然環境体験学習交流館などを生かした教育環 境の整った都市づくり
- ・観光・レクリエーション客の受け入れ、交流の促進による地域の活 性化
- ・安全で便利に暮らせる都市環境の形成
- ・地域資源を生かした快適な都市環境の形成

【都市づくりのテーマ】



【サイクリングロード】

報提供,特産品の提供等)

市街地・集落を結び、島内を周遊するサイクリ

る生活道路の活用,通行区分の表示など) 休憩所,公園等の配置(休憩,展望,案内・情

ングロードの整備(歩道の整備・活用、並行す

【江南·飛渡瀬地区 都市拠点】

点的公共施設の配置等

路の整備等

良好な環境の住宅地の形成

・商業・業務施設の立地誘導,交通結節機能の強化,新たな拠

江南地区東部の工業地としての土地利用の維持、アクセス道

・主要な公共施設周辺の道路,バス停などのバリアフリー化